

開館
30周年
記念



日本を夢みて



Joan Miró
and Japan



ジュアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》

1945年 油彩 キャンバス 福岡市美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

バルセロナに生まれた芸術家ジュアン・ミロ（1893-1983）は、ピカソやダリと並ぶ現代スペインを代表する巨匠として、日本でも永く愛されてきました。しかし、絵画や彫刻、版画、タペストリー、そしてやきものにまで及ぶその旺盛な創作活動の裏に、日本文化への深い造詣があったことはあまり知られていません。本展では、浮世絵や俳句を通じた日本への憧れが感じられる初期の代表作から、民芸や書、やきものを通じて触れた日本特有の質感を反映した戦後の大作まで、ミロの90年の歩みを辿ります。ミロがアトリエに飾っていた日本の民芸品や、世界で初めてミロについての本を出した詩人・美術評論家の瀧口修造との共作を含む、約140点の作品と資料が一堂に会する本展は、ミロが「長い間、夢みていた」という日本での、20年ぶりとなる大規模な回顧展です。

- 【展覧会名】 開館 30 周年記念 ミロ展——日本を夢みて
Joan Miró and Japan
- 【会 期】 2022 年 4 月 29 日（金・祝）～7 月 3 日（日）（57 日間）※一部展示替えあり
- 【会 場】 愛知県美術館（愛知芸術文化センター10 階）
- 【開館時間】 10:00～18:00 金曜は 20:00 まで（入館は閉館の 30 分前まで）
- 【休 館 日】 毎週月曜日
- 【観 覧 料】 一般 1,800（1,600）円
高校・大学生 1,200（1,000）円
中学生以下無料
- ※（ ）内は前売券および 20 名以上の団体料金です。
※上記料金で本展会期中に限りコレクション展もご覧になれます。
※身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳（愛護手帳）、特定医療費受給者証（指定難病）のいずれかをお持ちの方は、各券種の半額でご観覧いただけます。また付き添いの方は、各種手帳（「第 1 種」もしくは「1 級」）または特定医療費受給者証をお持ちの場合、いずれも 1 名まで各券種の半額でご観覧いただけます。当日会場で各種手帳（ミライ ID 可）または受給者証をご提示ください。付き添いの方はお申し出ください。
※学生の方は当日会場で学生証をご提示ください。
- 【アクセス】 地下鉄東山線・名城線「栄」駅／名鉄瀬戸線「栄町」駅下車、
オアシス 21 連絡通路利用徒歩 3 分
- 【ウェブサイト】 <https://miro2022.jp/>
- 【主 催】 愛知県美術館、中日新聞社、東海テレビ放送
- 【協 賛】 アイシン、東海東京証券、ライブアートブックス
- 【協 力】 ヤマト運輸
- 【後 援】 スペイン大使館、インスティトゥト・セルバンテス東京、名古屋スペイン協会、JR 東海
- 【出品協力】 ピラール&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ
- 【問合せ先】 愛知県美術館 TEL 052-971-5511（代）
- 【出品点数】 約 140 点
- 【同時開催】 愛知県美術館 2022 年度第 1 期コレクション展
- 【巡 回 先】 富山県美術館 2022 年 7 月 16 日（土）～9 月 4 日（日）予定

ミロとは…

ジュアン・ミロ (Joan Miró, 1893-1983)

20 世紀のスペインを代表する芸術家。1893 年、スペインのカタルーニャ地方の都市バルセロナに生まれる。美術学校を経て、バルセロナの前衛芸術の拠点ダルマウ画廊で作品を発表。1920 年代からはパリにアトリエを借り、両親の別荘があったカタルーニャの小村モンロッチと行き来しながら制作するようになった。シュルレアリスムのグループと親しく交流しつつも、つねに故郷の風土に根ざした作品を発表していたミロだったが、スペイン内戦により故郷を追われ、第二次世界大戦で各地を転々とするのを余儀なくされた。1944 年にやきものと彫刻の制作をはじめ、1956 年には妻の故郷マジョルカ島のパルマに広いアトリエを構えて幅広いジャンルの作品を手がけた。1983 年に 90 歳で没する。

民芸、書、やきもの、郷土玩具… 日本の美がミロをとりこにした!? 20 年ぶりの回顧展のみどころ

1 浮世絵に俳句、日本好きのミロ。

ミロが生まれた 1893 年のバルセロナは、その数年前の万国博覧会開催をきっかけにした日本美術ブームの真っ只中にありました。ミロの生家の近くには日本美術の輸入販売店があり、ミロが初めて個展を開いた画廊でもときおり日本の浮世絵や工芸品が展示されています。またミロの周囲には俳句の魅力に取り憑かれた詩人たちがいました。こうした環境で過ごしたミロが日本への想いを募らせたのは、ごく自然なことだったのかもしれません。パリでシュルレアリスムに出会うよりも前に、ミロは日本に出会っていたのです。



ジュアン・ミロ《アンリク・クリストフル・リカルの肖像》1917 年 油彩・コラージュ、キャンバス ニューヨーク近代美術館 ©The Museum of Modern Art, New York. Florene May Schoenborn Bequest, 1996/Licensed by Art Resource, NY ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

親友の肖像画に、
突然浮世絵の実物をペタリ



ジュアン・ミロ《シウラナ村》1917 年 油彩、キャンバス 吉野石膏コレクション (山形美術館寄託) ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

「一点一格にして生るが如くならん」
北斎の言葉に感銘を受けたミロ



ジュアン・ミロ《花と蝶》1922-23 年 テンペラ、板 横浜美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

親友リカルが訳した俳句
「落花枝に帰ると見れば胡蝶かな」
を思わせる

2 画家ミロの歩みを国内外の珠玉のコレクションで辿ります。

1920年、27歳で初めてパリに滞在して以来、ミロは故郷カタルーニャの風景や生き物たちを描いた絵画をパリで発表するようになります。当時世間を騒がせていたシュルレアリスムの詩人や画家たちとも親しくなり、ミロもその一員として名が知られるようになっていきました。従来の絵画を乗り越えるためにさまざまな実験を試みたミロですが、なかでも絵画と詩が溶け合うミロならではの画面からは、東洋への眼差しも透けて見えます。スペイン内戦と第二次世界大戦という時代の波に翻弄されながらも決して制作を止めることはなかったミロの、長い歩みを辿ります。



ジュアン・ミロ《絵画（パイプを吸う男）》1925年
油彩、キャンバス 富山県美術館
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

カタルーニャの空を象徴する青

遠い日本で初めて実際に展示された
ミロの絵画



ジュアン・ミロ《焼けた森の中の人物たちによる構成》
1931年 油彩、キャンバス ジュアン・ミロ財団、バルセロナ
©Fundació Joan Miró, Barcelona ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304



ジュアン・ミロ《絵画(カタツムリ、女、花、星)》1934年
油彩、キャンバス 国立ソフィア王妃芸術センター
Photographic Archives Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofía, Madrid
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

書も絵も根底は同じ。
東洋の考え方にミロは深く共感



ジュアン・ミロ《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》1945年
油彩、キャンバス 福岡市美術館
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

孤独なミロをなぐさめた、
大聖堂のステンドグラスと
オルガンの響き

3 日本を夢みて…念願の来日。

第二次世界大戦を経て、ミロはますます日本の文化にのめり込んでいきます。日本のやきものの技術を学んだアルティガスと共に陶芸に熱中し、友人たちが日本から持ち帰ってきた民芸品の数々に目を奪われ、自らも日本風の作品を作るようになりました。そして1966年、日本での大規模な回顧展開催を機にミロは念願の初来日を果たします。京都や奈良、信楽、そして名古屋と日本各地を飛び回り、世界初のミロの単行書を1940年に刊行していた詩人で美術評論家の瀧口修造との対面もようやく叶いました。若い頃から日本に憧れたミロと、世界に先駆けてミロの魅力を見出した日本、両者の関係はここからさらに深まっていくことになります。



ジュゼップ・リュレンス・イ・アルティガス、ジュアン・ミロ
《花瓶》1946年 炆器 個人蔵
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

陶芸家アルティガスと
やきものづくりに没頭、
信楽や名古屋の窯も訪ねる



ジュアン・ミロ 《絵画》1966年 油彩・アクリル・木炭、キャンバス ピラ
ール&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ
Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive ©Successió
Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

「日本の書家たちの仕事に
夢中になった」ミロ。
帰国直後の一点



ジュアン・ミロ 《マキモノ》1956年 捺染、絹 町田市立国際版画美術館
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304

来日前のミロが制作した、
全長8mを超える巻物状の作品

4 ミロのアトリエを飾る日本の民芸品が里帰り。

ミロの制作の原点であるカタルーニャの農村モンロッチのアトリエや、晩年を過ごしたマジョルカ島のアトリエに飾られていた日本の品々は、ミロの創作意欲を大いに刺激しました。また本棚を覗けば、そこには書やはにわ、茶道、日本庭園など日本の文化にまつわる画集が数多く収められていました。友人たちから贈られたものからミロ自身が購入したものまで、これらの貴重なミロ旧蔵資料が数十年ぶりに日本に里帰りします。



渡辺喜平《こけし（土湯系）》1941年9月以前
木 スクセシオ・ミロ



《佐賀杵島山一刀彫のカチカチ車》1966年以前 木
ピラール&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ
Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive



《諷刺高松の鯛野中》20世紀 張子
ピラール&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ
Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive



《鹿児島神宮（大隈正八幡）の初鼓》20世紀 紙、木
ピラール&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ
Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive

お得な企画チケット

●早割ペアチケット（購入期間：2022年3月10日〔木〕～4月10日〔日〕22:00）

お得なペアチケットを数量限定で販売します。

一般2枚組 2,800円（税込）

●グッズ付きチケット（購入期間：2022年3月10日〔木〕～数量に達し次第、販売終了）

本展オリジナルグッズ「ロルバーン ポケット付メモ《ジョアン・ミロの3冊の本展ポスターのためのリトグラフ》」が付いたお得なチケットを数量限定で販売します。

日本とミロ
2,360円（税込）

●ミロ展+国際芸術祭「あいち2022」セット券（購入期間：2022年4月1日〔金〕10:00～4月28日〔木〕22:00）

ミロ展前売券と国際芸術祭「あいち2022」（会期2022年7月30日～10月10日）1DAYパスがセットになった超お得なチケットを販売します。

一般 2,800円（税込）

高校・大学生 1,800円（税込）

展覧会ナビゲーター/音声ガイド

俳優：杉野遥亮

本展会場限定の音声ガイドに杉野遥亮さんが初登場！杉野さんのシークレットトラックもお楽しみに！

貸出価格：600円（税込）

イベント・その他

スライドトーク（学芸員による展示説明会）

【日時】 2022年5月14日（土）、5月29日（日）、6月18日（土）各回11:00-11:40

6月10日（金）18:30-19:10

【会場】 アートスペース A（愛知芸術文化センター12階）

【定員】 各回70名

※申込不要、聴講無料。開始時刻に会場にお集まりください。

ミロ展——日本を夢みて 広報用画像申込書

※ご掲載にあたっての注意事項

- ・本展広報用画像の使用は、展覧会の紹介を目的としたものに限りさせていただきます。ご使用可能期間は本展覧会終了までです。
- ・ご使用の際は下記のキャプション情報（作家名、作品名、所蔵者名、画像クレジット等）を全てご掲載ください。
- ・画像は全て全図でご使用ください。トリミング、縦横比の変更、文字や他のイメージを重ねることはできません。
- ・展覧会情報の確認のため、校正原稿を事務局宛に FAX またはメールでお送りください。
- ・掲載誌（紙）、録画 DVD 等を事務局宛に 1 部ご惠贈願います。ウェブ媒体の場合は掲載 URL をお知らせください。

- 1 ジュアン・ミロ 《アンリク・クリストフル・リカルの肖像》1917 年 油彩・コラーージュ、キャンバス ニューヨーク近代美術館
©The Museum of Modern Art, New York. Florene May Schoenborn Bequest, 1996/Licensed by Art Resource, NY ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 2 ジュアン・ミロ 《花と蝶》1922-23 年 テンペラ、板 横浜美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 3 ジュアン・ミロ 《シウラナ村》1917 年 油彩、キャンバス 吉野石膏コレクション（山形美術館寄託） ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 4 ジュアン・ミロ 《絵画（パイプを吸う男）》1925 年 油彩、キャンバス 富山県美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 5 ジュアン・ミロ 《焼けた森の中の人物たちによる構成》1931 年 油彩、キャンバス ジュアン・ミロ財団、バルセロナ ©Fundació Joan Miró, Barcelona
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 6 ジュアン・ミロ 《絵画（カタツムリ、女、花、星）》1934 年 油彩、キャンバス 国立ソフィア王妃芸術センター Photographic Archives Museo Nacional Centro de Arte Reina Sofía, Madrid
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 7 ジュアン・ミロ 《ゴシック聖堂でオルガン演奏を聞いている踊り子》1945 年 油彩、キャンバス 福岡市美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 8 ジュゼップ・リュレンス・イ・アルティガス、ジュアン・ミロ 《花瓶》1946 年 磁器 個人蔵 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 9 ジュアン・ミロ 《絵画》1966 年 油彩・アクリル・木炭、キャンバス ビラル&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive
©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 10 ジュアン・ミロ 《マキノノ》1956 年 捺染、絹 町田市立国際版画美術館 ©Successió Miró/ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2022 E4304
- 11 渡辺喜平 《こけし（土湯系）》1941 年 9 月以前 木 スクセシオ・ミロ
- 12 《佐賀杵島山一刀彫のカチカチ車》1966 年以前 木 ビラル&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive
- 13 《讃岐高松の鯛餅》20 世紀 張り ビラル&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive
- 14 《鹿児島神宮（大隈正八幡）の初鼓》20 世紀 紙、木 ビラル&ジュアン・ミロ財団、マジョルカ Fundació Pilar i Joan Miró a Mallorca Photographic Archive



媒体名：_____

ジャンル：_____

掲載・放送予定日：_____

貴社名：_____

ご担当者名：_____

E-mail：_____

所在地：〒_____

電話：_____

問い合わせ先／校正原稿等の送付先

ミロ展実行委員会事務局

展覧会内容に関すること：展覧会担当 副田、芹澤

広報掲載に関すること：広報担当 田村

〒461-8525 名古屋市東区東桜 1-13-2

TEL: 052-971-5511（代）

FAX: 052-971-5604

E-mail: art11@aac.pref.aichi.jp